



115号沿いの桜

荒川砂防出張所からのお便りです。
5月は水防月間です。

荒川遊砂地の整備も大詰めです！

荒川遊砂地とは、地蔵原えん堤～荒川第5えん堤までの区間（約110m）をさします。「荒川遊砂地大暗渠砂防えん堤（通称：大暗渠）」「第4床固工」が完了しています。現在工事中の第3床固工の完了をもって荒川遊砂地の整備が終了します。



今年度の工事では、段差をなくし魚が遡上しやすくします。



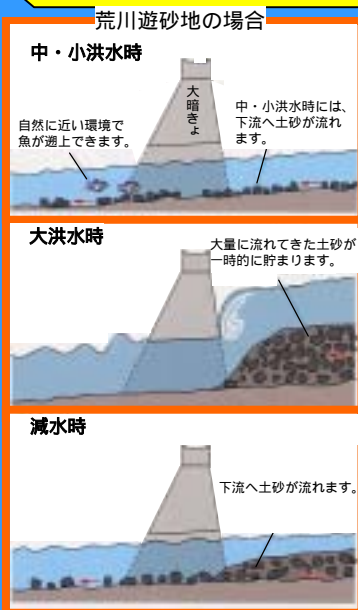
通常は3m程度の段差がある流路を、荒川遊砂地の第3・第4床固工は魚が遡上しやすくするための斜路（魚道ぎょう）を設置し、生物に配慮した構造物となります。

地蔵原堰堤～大暗渠の区間は自然を満喫できる遊歩道があります。「みずウォーク(5/10)」「あらかわ・ふるさとの川(6/8)」のコースになっています。



ちょっとまめ知識 ~ 「遊砂地」ってなんだ?!

私が現場担当者です。



「遊砂地」は、砂防えん堤とは異なり、「大洪水時に流れてきた大量の土砂を**一時的に貯めておく**」「貯めた土砂は自然の力（川の水の力）により、**少しずつ下流へ流す**」という役割があります。

土砂を流すことにより、下流河川の河床低下を防ぐ効果があります。



現場担当者（現場代理人）
小林土木(株) 松谷昌俊さん

この工事は大雨などによる災害から私たちの生活を守る仕事です。安心して遊べる川になるようにがんばります。お気づきの点があれば現場事務所 024-594-1444 までどうぞ。



荒川砂防堰堤群

今号から、今年3月に有形文化財に登録された荒川流域の砂防えん堤8基と地蔵原えん堤をご紹介します。

今回登録されたえん堤群は、昭和11年から昭和27年にかけて荒川に造られた砂防えん堤です。今も土湯の温泉街や福島市街地を土砂災害から守ってます。



荒川第1砂防えん堤

昭和12年に建設されました。長さ57m、高さ10mのえん堤です。荒川流域内では地蔵原堰堤の次に造られた砂防えん堤になります。



荒川第5砂防えん堤

昭和29年に建設されました。長さ150m、高さ12mのえん堤です。えん堤の水が流れ落ちる端の角石が取れないように 菱形の切石を斜めに張る珍しい造りになっています。

QUIZ "これ"ってなんだ?

東鴉川第1砂防えん堤にあるこの小屋と小屋から延びている管。

これって一体なんですか？
次のヒントをみて考えてみましょう。答えは次号で！
ヒント：全国の川に設置されています。



No12の答えは...土湯雨量観測所です。
土湯雨量観測所で測定される雨量が基準値に達すると土砂災害の危険性が高まるため、荒川砂防出張所では砂防施設の点検を行います。
雨量情報はインターネットで公開しています。
『川の防災情報』で検索！

荒川砂防出張所メンバー紹介



20年度のメンバーです！
事務係長と技術係長が入れ替わりました。
わかりやすい砂防に関する情報を発信していきます。

イベント情報

みずウォーク2008福島大会開催！

日時：5月10日(土)
時間：当日参加受付8:00～
場所：あずま総合運動公園
主催：うつくしま・みずウォーク福島大会実行委員会

お問い合わせはこちら

〒960-2156
福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14
国土交通省 福島河川国道事務所
荒川砂防出張所
フロムあらかわ編集委員会
TEL 024-593-0833(代表)
HP <http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp>